

防災への意識改革 vol.232

⚡ 防災行政無線情報は電話でも 防災行政無線が聞き取りにくい場合は、☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

水害に備えましょう

水害への備えは、普段の心構えと、緊急時の情報収集による安全な場所への避難が重要です。

● 日常の備え

洪水時は、水が溢れ道路が川のようになり、地形が一変してしまいます。側溝や小河川、池の位置がわからなくなるので注意しましょう。

各家庭では、町防災マップ(町ホームページから入手可能)を参考にして避難場所や避難路を家族全員で話し合っ、離れ離れになった時の連絡方法などを決めておきましょう。

加えて、非常食や持ち出す物を準備しましょう。停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに準備しておきましょう。

常日頃から、家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、窓や雨どいは傷んでいないか確認しておきましょう。

農薬など流出すると危険なものは、2階など浸水しないところに置いてください。



- 被害が予想される場合は、お年寄り、乳幼児、病人などを安全な場所に避難させる。
- 家族で避難場所や一緒にいない場合の連絡方法を確認する。



- 断水に備えて飲料水の確保をする。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をする。
- 浸水のおそれがある場合は、家財道具などを高い場所へ移動する。



- 台風、雨風に関する気象情報、町や防災関係機関などからの情報を聞く。
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をする。

● 緊急時の情報収集

台風や大雨の時には、テレビやラジオから情報の収集に努めてください。インターネットも情報収集の有効な手段の一つです。気象庁ホームページの「レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)」は、気象レーダーによる降水強度分布と降水域の移動状況を基に、1時間先までの10分間毎の雨量を、1キロメートル四方で予測し、10分毎に更新しています。

また、「愛知県川の防災情報」のホームページでは、河川監視カメラの画像や雨量、県管理河川の水位を情報提供しています。本町を流れる「阿久比川」「十ヶ川」の水位も情報提供されています。

災害時には情報の混乱が被害を大きくします。自主防災の基本である「自分の身は自分で守る」ためにも、テレビ・ラジオ・インターネットなどで正確な情報を、迅速に入手することに努めてください。

